

企画県土警察常任委員会資料

(平成22年9月14日)

- 1 国土交通省等の平成23年度予算概算要求の概要について
【県土総務課】……………1ページ
- 2 建設業の経営活性化アクションプログラム(素案)の概要について
【県土総務課】……………3ページ
- 3 山陰道「東伯・中山道路」のインターチェンジ名称について
【道路企画課】……………7ページ
- 4 湖山池を巡る最近の動きについて【河川課】……………8ページ
- 5 クルーズ客船の鳥取港寄港について【空港港湾課】……………10ページ
- 6 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【道路建設課、河川課】……………11ページ

県土整備部

国土交通省等の平成 23 年度予算概算要求の概要について

平成 22 年 9 月 14 日
県 土 総 務 課

国土交通省及び農林水産省の平成 23 年度予算概算要求が公表され、その概要は次のとおりです。

1 国土交通省及び農林水産省の概算要求額（公共事業関係：国費ベース）

（単位：億円）

区 分	H 2 3 年度	うち「元気な日本復活特別枠」	H 2 2 年度	伸び率 (A/B)
	算 要 求 額 (A)		予 算 額 (B)	
国土交通省	48,342	5,407	48,585	1.00
道路整備	10,200	1,208	9,822	1.04
治山治水	6,096	574	6,131	0.99
港湾空港鉄道等	3,636	627	3,807	0.96
住宅都市環境整備	5,029	567	5,040	1.00
公園水道廃棄物処理等	509	18	858	0.59
社会資本総合整備交付金	22,000	2,374	22,000	1.00
その他（災害復旧等）	873	40	927	0.94
農林水産省	6,752	1,081	6,563	1.03
農山漁村地域整備交付金	1,500	170	1,500	1.00
治山	608		688	0.88
水産基盤	724		822	0.88
その他（農業農村整備等）	3,920	911	3,553	1.10

（注）億円未満の端数を四捨五入しているため計は一致しないものがある。

2 本県に関する主な内容

（1）山陰道などの道路整備

予算の重点方針として、「我が国の成長力・競争力の確保や地域の活性化に必要な道路事業に重点化するとともに、事業効果の早期発現を図る観点から、今後 3 年間の開通予定箇所（平成 25 年度迄）に重点化を実施」が明記された。

[今後の対応]

- ・ 山陰道及び駒馳山バイパスに十分な予算が確保されるよう引き続き国に働きかけていく。

(2) 地域高規格道路「北条湯原道路」 国道313号倉吉関金道路

補助事業の地域高規格道路の新規箇所として、国道313号倉吉関金道路（倉吉市関金町関金宿～小鴨）が盛り込まれた。

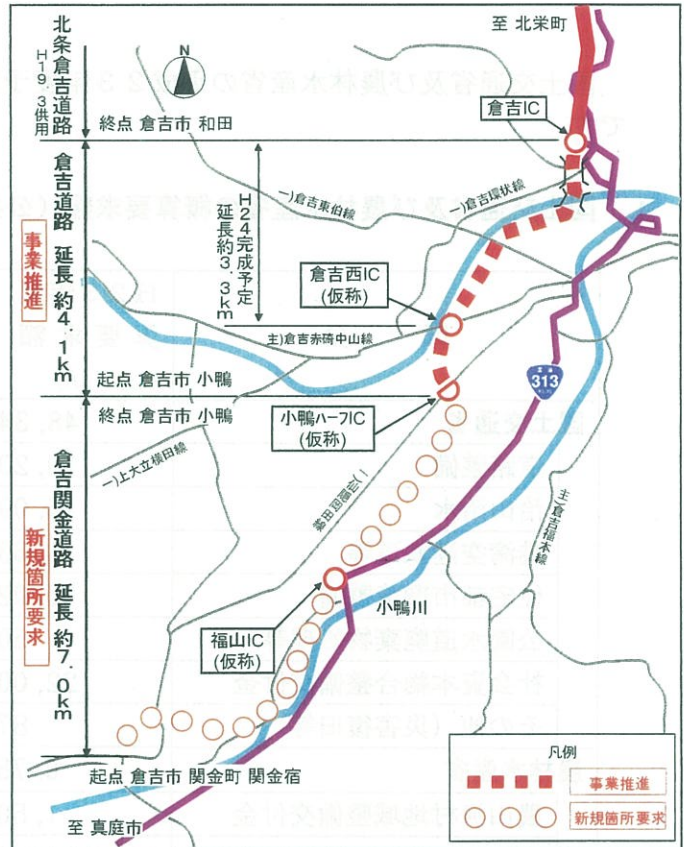
※補助事業の新規箇所としては、全国で4箇所が個別に示された。

(概要)

- 延長 7.0 km
- 道路幅員 13.5 m
(うち車道幅員7 m、自動車専用道路)
- 事業費 約124億円

[今後の対応]

- ・ 倉吉関金道路の新規採択とともに、倉吉道路（倉吉IC～倉吉西IC）の平成24年度供用に向けて、十分な予算が確保されるよう引き続き国に働きかけていく。



(3) 境港 外港中野地区 国際物流ターミナル整備事業（直轄事業）

直轄の港湾整備事業の新規箇所として、外港中野地区国際物流ターミナル整備事業が盛り込まれた。

※新規箇所としては、全国で8箇所が個別に示された。

(概要)

- 整備施設
 - ・ 岸壁（水深12 m）
 - ・ 泊地（水深12 m）
 - ・ 臨港道路、埠頭用地
- 総事業費 約90億円
- 整備期間 H23～27年度

[今後の対応]

- ・ 外港中野地区国際物流ターミナル整備事業とともに、竹内南地区国際フェリーターミナル整備事業（補助事業）が新規採択され、十分な予算が確保されるよう国に働きかけていく。



建設業の経営活性化アクションプログラム（素案）の概要について

平成22年9月14日
県土総務課

「建設業の経営活性化アクションプログラム」（素案）の概要は、次のとおりです。

建設業の経営活性化アクションプログラムの概要（素案）

1 目的

公共投資が大きく減少したことを受け、建設業者は非常に厳しい経営環境に直面しており、様々な取り組みが求められている。

そこで本プログラムにおいては、特に建設業者が取り組む経営効率化や新分野進出などについて、関係機関と連携して総合的に支援することにより、建設業の経営の活性化を図ることを目的とする。

2 現状と課題

①建設投資の急激で大幅な減少……ピーク時の41%余の減少

②建設業の経営状況悪化……黒字業者割合は逡減し56%（平成21年）

③建設業の倒産・失業者増加……全産業倒産件数の48%（平成21年度）

全企業倒産失業者の23～52%（平成17～21年度）

④県内総生産、就業者数に占める割合……9%程度と県民生活に大きな影響

3 アクションプログラム

（1）自社の経営状況の把握と経営選択の支援

ア 取組事項

○ [研修事業]

- ・経営活性化に関する研修会により、経営状況を正確に把握し、経営方針を再点検することの重要性について理解を深める。

○ [相談体制の整備]

- ・経営改善等の取組を進めるため、経営相談アドバイザーによる企業訪問を実施する。
- ・**新**県土総務課内に総合相談窓口を新たに設置して、商工会議所などの支援機関の紹介、新分野進出の際の担当部局の紹介、補助制度等の案内を行う。

○ [支援機関の連携]

- ・**新**商工会議所、商工会、鳥取県産業振興機構などの支援機関が相互に連携して、建設業者の経営活性化に関する取り組みを総合的に支援する。

○ [専門家による助言指導]

- ・**新**経営を改善するための課題解決等について、中小企業診断士、公認会計士、税理士、企業再生コンサルタントなどの専門家による指導を受ける経費を補助する。

(2) 新分野進出の支援

ア 取組事項

○ [研修事業の充実]

- ・**新**新分野進出に必要な事前の調査・検討の実効性向上を目的として、企業財務やマーケティング等の基礎知識を学習する機会を設ける。

○ [相談体制の整備]

- ・建設業新分野進出アドバイザー（経営相談アドバイザーが兼務）が企業を訪問し、個々のニーズに応じて支援を案内する。（再掲）

○ [支援機関の連携]

- ・**新**商工会議所、商工会、鳥取県産業振興機構などの支援機関が相互に連携して、新分野に進出する際の様々な課題（マーケティング、販路開拓など）の解決を総合的に支援する。（再掲）

○ [専門家による助言指導]

- ・**新**新分野進出の際のマーケティング、販路開拓等について、ビジネスコンサルタントや中小企業診断士などの専門家による指導を受ける経費を補助する。（再掲）

○ [新分野進出事業費の補助]

- ・**一部新**新分野進出に係る事前検討、事業化、新規雇用に要する経費を補助する。（補助期間を進出後5年以内から10年以内に延長）

○ [従業員雇用継続の補助]

- ・**新**建設業従事者を解雇せず、進出した新分野の事業で継続雇用した場合、その経費を補助し、新分野進出の支援を拡充する。

○ [融資]

- ・新分野進出に必要な、運転・設備資金について低利・長期の融資を行う。（企業自立サポート融資）

(3) 経営の集中、企業連携の支援

ア 取組事項

○ [専門家による助言指導]

- ・得意分野への経営集中や合併に取り組む際の課題等について、中小企業診断士・弁護士・税理士などの専門家による指導を受ける経費を補助する。(再掲)

○ [合併経費の補助]

- ・合併を行う際必要となる諸経費を補助する。(会計処理に係る税理士報酬、登記に係る司法書士報酬、社会保険合併に係る社会保険労務士報酬など)

○ [融資]

- ・既往借入金の借換資金や運転・設備資金について、低利・長期の融資を行う。(企業自立サポート融資)

(4) 雇用確保の支援

ア 取組事項

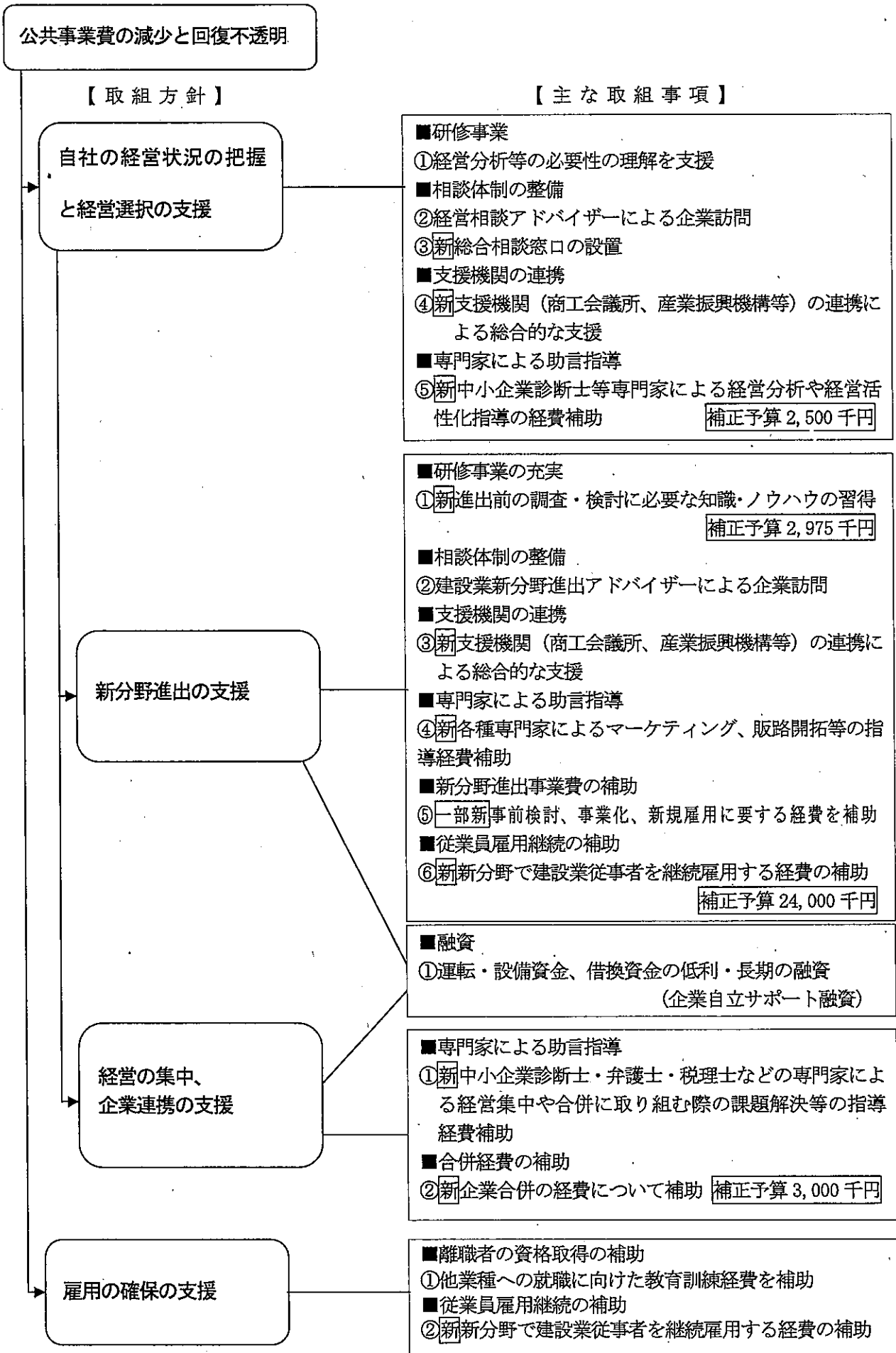
○ [離職者の資格取得の補助]

- ・建設業離職者の早期の他業種就職を支援するため、教育訓練を受ける経費を補助する。

○ [従業員雇用継続の補助]

- ・建設業従事者を解雇せず、進出した新分野の事業で継続雇用した場合、その経費を補助し、新分野進出の支援を拡充する。(再掲)

建設業の経営活性化アクションプログラムの体系 (素案)



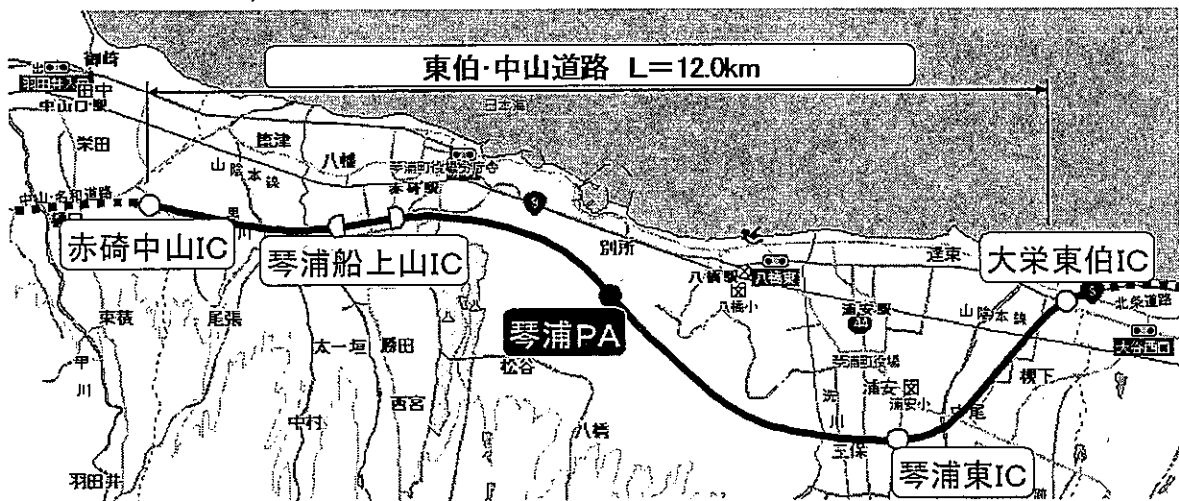
山陰道「東伯・中山道路」のインターチェンジ名称について

平成 22 年 9 月 14 日
道 路 企 画 課

今年度供用予定の「東伯・中山道路」のインターチェンジの名称については、国土交通省が関係自治体と調整を行っているところです。本県に対しても、次の名称(案)に対して意見照会があり、異存なしとして回答しましたので報告します。

1 意見照会の内容

(1)名称(案)について



※名称(案)は、北栄町、琴浦町、大山町の同意済み。

2 今後の予定

インターチェンジの名称については、標識適正化委員会の審議を経て、国土交通省が正式決定する予定。(秋ごろ)

湖山池を巡る最近の動きについて

平成22年9月14日
水・大気環境課
河川課

1. 「湖山池会議」について

湖山池の望ましい姿を検討するための、県・鳥取市の共同プロジェクトチームとして「湖山池会議」を発足させた。

(1) 第1回湖山池会議 (H22. 6. 25開催)

- ①会議構成：深澤鳥取市副市長、河原県統轄監と県・鳥取市の関係部局長で構成
- ②概要：湖山池の将来ビジョンの策定に向け、市民協働推進ワーキング及び水質浄化・生態系ワーキングを設置し、検討作業を進めることをなどを決定

(2) 第2回湖山池会議 (H22. 8. 11開催)

- 概要：次の事項等について協議
 - ・住民に対するアンケート内容や意見交換会の実施方法
 - ・湖山池の将来像パターンに応じたメリット・デメリットの検討及び水質浄化方策の取りまとめ
 - ・繁殖の著しいヒシ除去対策

(3) 今後の予定

- 住民アンケートや意見交換会の実施
- 将来像パターンに関するメリット・デメリット整理と所要施策の整理
- 水質浄化施策の実施に向けた検討
- 湖山池の将来ビジョンの策定

2. 水質浄化対策等への取り組みについて

湖山池の水質浄化対策等については地域自立・活性化交付金事業（平成22年度より社会資本整備交付金の一部）により実施している。本年度の主な内容は次のとおり。

①湖内湖整備

- ・枝川からの流入箇所付近に湖内湖を設置する計画だったが、湖山池漁協との調整の結果、予定箇所付近が魚の産卵場所であること等の理由により、今年度の実施は見合わせることにし、浅場造成及びヒシ除去の区域拡大を図ることとした。

②浅場造成

- ・国土交通省（駈馳山バイパス）からの発生砂を受け入れ、施工区域を750mから1050mに拡大し、桂見地区、金沢地区、瀬地区を施工予定。

③ヒシ対策

- ・当初の約2.5haから約20haへ除去面積を拡大した。（詳細は次項）

3. ヒシ対策について

湖山池のヒシは近年拡大し60ha（湖山池約700haの8%強）を超える勢いとなったため、県では平成15年度から本格的にヒシ除去を実施し、流入河川の水脈を中心に年平均2.5ha程度を除去してきたが、本年度は梅雨明け以降連日猛暑日が続いたことから、例年以上に大規模なヒシ腐敗が進むと想定されるため、緊急的にヒシ除去の追加対策を実施中。（9月末完了予定）

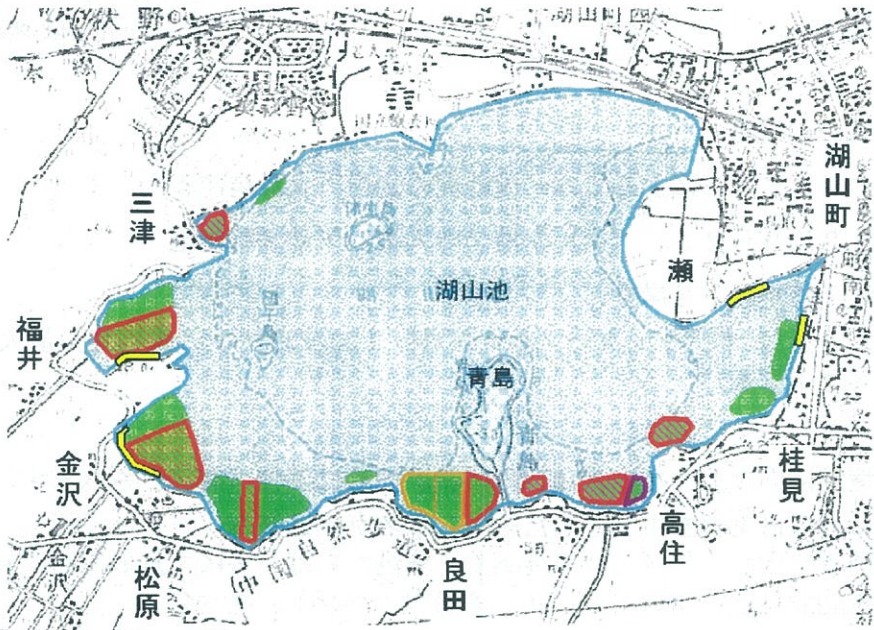
《平成22年度のヒシ対策》

- 当初 ヒシ除去面積 2.5ha、除去量 約50トン（チェーンを用いた除去）
- 追加 ヒシ除去面積 7.5ha、除去量 約150トン（チェーンを用いた除去）
- ヒシ除去面積 10.0ha、除去量 約200トン（専用機械を用いた除去）

合計 20ha（ヒシ繁茂面積の1/3相当）

なお、鳥取市においても別途ヒシを除去予定

H22水質対策等への取り組み状況

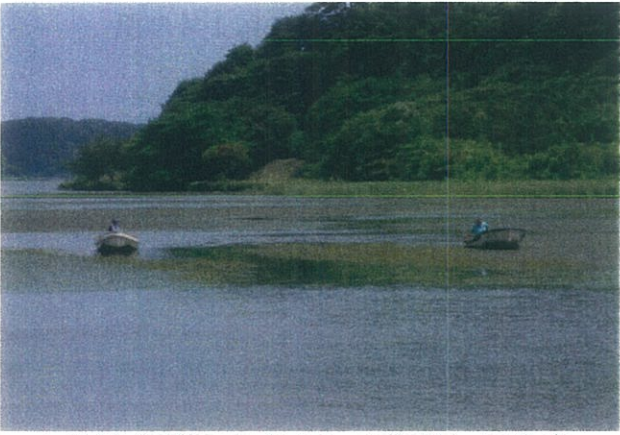


凡 例	
(ヒシ対策)	
	ヒシの繁茂範囲(約60ha) (H22.7.2現地調査)
	ヒシ対策予定範囲
	ヒシ対策予定範囲 * 幼少期除去(試験施工)
	ヒシ対策予定範囲 (鳥取市施工)
(浅場造成)	
	浅場造成施工予定範囲

ヒシ除去による水質浄化効果 (試算)

ヒシの栄養塩含有量		20ha当たり
窒素含有量	3.00(g/m ²)*	600kg
リン含有量	0.42(g/m ²)*	84kg

* 県衛生研究所報第39号 1999



* 漁船2隻で1本のフェーンを引いて除去



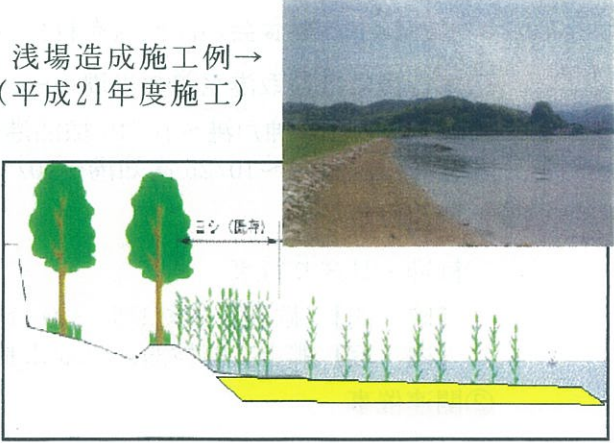
* 陸揚げの状況

<平成21年度の湖山池のヒシの除去作業の様子>



* 専用機械によるヒシの除去作業
<他県の事例>

浅場造成施工例→
(平成21年度施工)



<浅場造成の模式図及び施工例>

クルーズ客船の鳥取港寄港について

平成22年9月14日
空港港湾課
鳥取港振興会

1 クルーズ客船「ふじ丸」の寄港

宮城県・仙台港発着の「ふじ丸」による日本一周就航の途中、鳥取港に寄港します。

- (1) 入出港日時 平成22年9月28日(火) 午前7時入港 午前9時出港
- (2) 入港場所 鳥取港千代地区1号岸壁
- (3) 船舶名 「ふじ丸」(日本チャータークルーズ(株):23,235トン 乗客定員最大600名〔客室163室〕)
- (4) 今回の特徴

○鳥取港から乗船し境港に向けたクルーズ(航海)体験が同時に開催(有料)されます。

【参加者】主に鳥取県東部を中心とした約150名が申込済み

【時間】午前9時出航 午後2時境港到着 境港からはバスにて鳥取方面に帰着

【内容】船内施設見学、マジックショー等船内イベント、昼食会

<備考>

①鳥取港まで乗船されたお客様約300名は、下船後バスで県内等を観光し境港に移動

②行程:9/25 仙台港~9/26 苫小牧港~9/28 鳥取港→境港~9/29 宮崎細島港~9/30 松山港→高松港~10/1 南紀新宮港~10/2 仙台港

- (5) 見送り行事

【時間・場所】午前8時50分~9時〔予定〕・鳥取港千代地区1号岸壁

【内容】鳥取市長あいさつ他

2 クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」の寄港

横浜発着の「ぱしふいっくびいなす」による日本一周就航の途中、鳥取港に寄港します。

- (1) 入出港日時 平成22年10月23日(土) 午前9時30分入港 午後5時出港
- (2) 入港場所 鳥取港千代地区1号岸壁
- (3) 船舶名 「ぱしふいっくびいなす」(日本クルーズ客船(株):26,518トン 乗客定員最大696名〔客室254室〕)
- (4) 今回の特徴

○鳥取港に停泊中の「ぱしふいっくびいなす」船内で、施設見学、落語・マジックショー等イベント、昼食会が開催(有料)されます。

○本行程には鳥取港発着の半周コースも設定されています。

<備考>10/18 神戸港~10/19 横浜港~10/20 函館港~10/22 富山港~10/23 鳥取港~10/24 中津港~10/25 高知港~10/26 横浜港

- (5) 関連行事

①歓迎・見送り行事

【時間】〔歓迎〕午前9時30分~9時50分〔見送〕午後4時30分~5時

【内容】郷土芸能披露、鳥取市長あいさつ、紙テープによるお見送り他

②関連催事

・特産品販売(市町特産物販売、海産物等提供)、足湯設置、観光関連展示 他

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		県土整備部				
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日
道路建設課	県道河原インター線6号橋上部工事(交付金改良)	八頭郡 八頭町 上野 西御門	(株)宮地鐵工所広島営業所 所長 伊藤 茂	268,465,000円 (予定価格) 342,771,450円	平成22年8月31日 ~ 平成23年7月21日	平成22年8月31日 制限付 一般競争入札 (17社)
道路建設課 (西部総合事務所 県土整備局)	国道181号改良工事(3工区)(交付金)	西伯郡 伯耆町 坂長	松越建設(株) 代表取締役 松越 秀志	97,650,000円 (予定価格) 112,108,500円	平成22年8月9日 ~ 平成23年3月15日	平成22年8月6日 制限付 一般競争入札 (18社)

【変更分】		県土整備部				
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日
道路建設課	国道482号下鞍屋工区4号橋上部工事(補助改良)	日野郡 江府町 下鞍屋	(株)富士ビー・エス株式会社 所長 久林 正和	(当初契約額) 389,550,000円 (第1回変更後契約額) 389,550,000円 (変更額) 0円 (第2回変更後契約額) 389,550,000円 (変更額) 0円	平成21年2月12日 ~ 平成22年3月19日 (変更後工期) 平成22年8月31日 (変更後工期) 平成22年10月12日	(当初契約年月日) 平成21年2月12日 (第1回変更契約年月日) 平成22年3月12日 (第2回変更契約年月日) 平成22年8月30日

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
【変更分】 道路建設課 [東部総合事務所 県土整備局]	岩美広域農道(久志羅2-2工区)改良工事(道交付金)	鳥取市 福部町 久志羅	(株)大晃工業 代表取締役 栗山 秀美	(当初契約額) 119,910,000円	平成21年10月5日 ～ 平成22年3月15日	(当初契約年月日) 平成21年10月5日	
				(第1回変更後契約額) 119,910,000円 〔 (変更額) 0円 〕	(変更後工期) 平成22年8月10日	(第1回変更契約年月日) 平成22年3月15日	
				(第2回変更後契約額) 119,910,000円 〔 (変更額) 0円 〕	(変更後工期) 平成22年8月31日	(第2回変更契約年月日) 平成22年8月10日	
				(第3回変更後契約額) 119,910,000円 〔 (変更額) 0円 〕	(変更後工期) 平成22年10月31日	(第3回変更契約年月日) 平成22年8月31日	
道路建設課 [中部総合事務所 県土整備局]	国道313号(倉吉道路)改良工事(20工区)(7号箱型函渠工)(交付金改良)	倉吉市 福守町	(株)井木組 代表取締役 井木 敏晴	(当初契約額) 87,465,000円	平成21年10月5日 ～ 平成22年3月15日	(当初契約年月日) 平成21年10月5日	
				(第1回変更後契約額) 86,012,850円 〔 (変更額) △1,452,150円 〕		(第1回変更契約年月日) 平成21年10月20日	
				(第2回変更後契約額) 86,754,150円 〔 (変更額) 741,300円 〕	(変更後工期) 平成22年6月30日	(第2回変更契約年月日) 平成22年3月11日	
				(第3回変更後契約額) 86,754,150円 〔 (変更額) 0円 〕	(変更後工期) 平成22年8月16日	(第3回変更契約年月日) 平成22年6月29日	
				(第4回変更後契約額) 91,100,100円 〔 (変更額) 4,345,950円 〕		(第4回変更契約年月日) 平成22年8月3日	

【変更分】 主 務 課	工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
道路建設課 (中部総合事務所 県土整備局)	国道313号(倉吉道路)改良工事 (15工区)(和田地区)(交付金改良)	倉吉市 和田	(株)ワ工一 代表取締役 西村 博文	(当初契約額) 90,615,000円	平成21年8月25日 ～ 平成22年3月15日	(当初契約年月日) 平成21年8月25日	
				(第1回変更後契約額) 90,615,000円 〔 (変更額) 0円 〕	(変更後工期) 平成22年8月31日	(第1回変更契約年月日) 平成22年3月15日	
				(第2回変更後契約額) 98,429,100円 〔 (変更額) 7,814,100円 〕		(第2回変更契約年月日) 平成22年8月30日	
道路建設課 (西部総合事務所 県土整備局)	国道181号改良工事(6工区)(補助改良及び地活交付金)	西伯郡 伯耆町 坂長	(有)平井工業 代表取締役 平井 茂晃	(当初契約額) 160,230,000円	平成22年1月25日 ～ 平成22年10月1日	(当初契約年月日) 平成22年1月22日	
				(第1回変更後契約額) 165,603,900円 〔 (変更額) 5,373,900円 〕		(第1回変更契約年月日) 平成22年4月30日	
				(第2回変更後契約額) 165,603,900円 〔 (変更額) 0円 〕	(変更後工期) 平成23年1月31日	(第2回変更契約年月日) 平成22年8月30日	
道路建設課 (西部総合事務所 県土整備局)	国道180号改良工事(3工区)(地創交付金)	米子市 吉谷 ～ 西伯郡 南部町 阿賀	(有)石倉建設 代表取締役 石倉 悟	(当初契約額) 101,325,000円	平成22年1月27日 ～ 平成22年9月10日	(当初契約年月日) 平成22年1月26日	
				(第1回変更後契約額) 100,371,600円 〔 (変更額) △953,400円 〕		(第1回変更契約年月日) 平成22年8月30日	
				(当初契約額) 131,092,500円	平成22年3月30日 ～ 平成22年12月13日	(当初契約年月日) 平成22年3月29日	
河川課 (東部総合事務所 県土整備局)	岩美海岸人工リーフ整備事業	岩美郡 岩美町 牧谷	やまごう建設(株) 代表取締役社長 田中 義昌	(第1回変更後契約額) 126,913,500円 〔 (変更額) △4,179,000円 〕	(変更後工期) 平成22年12月15日	(第1回変更契約年月日) 平成22年8月6日	